

住宅メーカー初、ベトナムに技能訓練施設開設 現地送出し機関と連携し、技能実習生の受入れ体制を強化 2022年に300人登用へ

積水ハウスは、2019年10月3日に（一社）JIC協同組合支援協会と業務委託契約を締結し、現地送出し機関と連携することで、ベトナム社会主義共和国（以下「ベトナム」）のハノイに、住宅メーカー初となる当社住宅建設工事向けの技能訓練施設を2019年11月に開設します。さらに、技能実習生および日本側の受入れ企業となる積和建設や当社施工協力会社へのサポートを積極的に行うことで、ベトナムからの技能実習生の受入れ体制を強化し、国内の建築現場での施工力の確保を図ります。これにより、2022年には積和建設や当社協力会社でのベトナム人の登用人数は約300人となる予定です。

- 業界初、ベトナムに自社向け施工訓練施設を開設
- 日本国内の建築現場での施工力の確保、ダイバーシティ経営の推進
- 技能実習生のスムーズな生活・技能習得をサポート

日本の建設業における技能労働者の数は2019年から2025年で37万人減少すると言われており、労働者不足が懸念されています。一方で、2019年4月1日に「外国人労働者の受け入れを拡大する改正出入国管理法（改正入管法）」が施行されるなど、外国人労働者の受入れ数は今後5年で最大34万5千人になると予想されています（政府発表：2018年11月14日）。

現在当社研修所においてはベトナム人を含む外国人向けの研修を行っており、スムーズな業務を推進するとともに、施工品質の確保に努めています。今回（一社）JIC協同組合支援協会と業務委託契約を締結し、ベトナム国内に当社向け技能訓練施設を開設することで、技能実習生は住み慣れた自国にいながら当社の会社の施工技術（基礎、外装躯体、内装仕上げ）や企業理念などを学ぶことができ、来日後はスムーズに実習を開始できます。受入れ後も、技能実習生に対する手厚い支援を行い、安心して技能を習得できる環境を提供します。また、受入れ企業となる積和建設や当社施工協力会社は、受入れ後の研修時間の削減が可能です。



当社国内研修所での
ベトナム人向け研修の様子



現地技能訓練施設



家族説明会の様子

これからも積水ハウスは、社会課題の解決や多様な人材の登用によるダイバーシティ経営の推進に積極的に取り組み、ESG経営のリーディングカンパニーを目指します。

技能実習生受入スキーム



サポートについて

ベトナム現地での家族説明会の開催や現地訓練費用の当社全額負担など、技能実習生が安心して来日できる環境を提供します。受入れ後も日本人同様の賃金形態に加え、技能検定合格に向けた支援や、24時間対応のサポートシステムなど、技能実習生に対する手厚い支援を行い、安心して技能を習得していただくことが可能です。

■現地でのサポート例

- ・現地技能訓練費用の全額負担
- ・専門的な技術や用語の習得
(基礎知識、独自の現場ルール、安全衛生教育、専門技術)
- ・当社施工現場での実践日本語の習得
- ・採用面接時の家族説明会の開催
- ・家族向け訓練参観の開催

■日本滞在時のサポート例

- ・技能実習生1年目に係る費用の援助
- ・技能実習責任者、技能実習指導員、および生活指導員による支援
- ・月1回の施工現場訪問指導、3ヶ月に1回の監査の支援
- ・24時間対応技能実習生向けサポートシステム（お困りごと対応Webサイト*）
- ・随時施工現場を訪問し、技能実習生の悩みや問題点の聞き取り
- ・技能検定合格に向けた支援
- ・日本語教育ウェブサービスの費用補助

*お困りごと対応Webサイト

実習内容だけにとどまらず、日々の生活や仲間とのコミュニケーションなど日本での生活で困った事があった際にWebサーバ経由で積水ハウス施工部 雇用育成推進室へ相談できるサイト